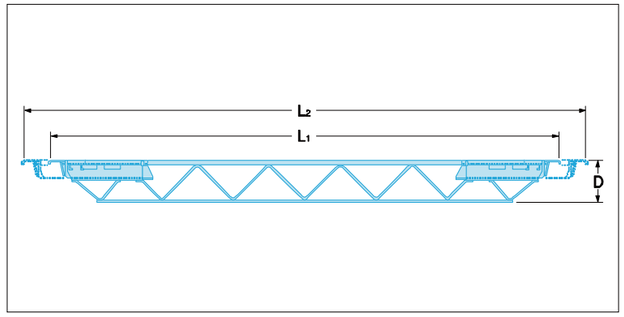
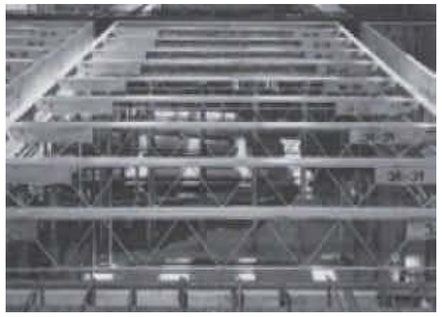
AXビーム

〈千葉センター保有品〉

■仕　様



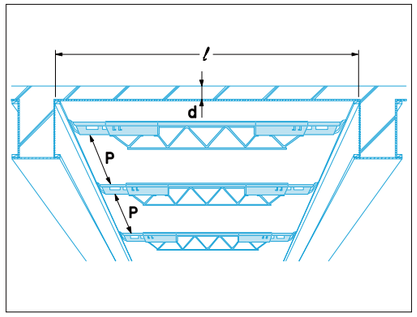


規格＼仕様	本体製品寸法(mm) L₁～L₂寸法	本体製品寸法(mm) D寸法	重量(kg)	許容曲げモーメント(kg・m)
AX11-14型	1120～1460	163	11.3	200
AX14-18型	1460～1825	163	12.5	200
AX18-25型	1825～2525	272	19.0	430
AX25-32型	2525～3225	322	23.0	530
AX32-39型	3225～3925	322	28.0	610
AX39-46型	3925～4625	323	35.0	650

■部材表

規　格	組　立　図	メインビーム	サイドビーム	セットクサビ
AX11-14型	11.3kg	6.4kg	4.7kg	0.2kg
AX14-18型	12.5kg	7.4kg		
AX18-25型	19.0kg	9.2kg		
AX25-32型	23.0kg	13.2kg		
AX32-39型	28.0kg	18.2kg		
AX39-46型	35.0kg	25.2kg		

■構造図



■ベニヤ使用(ピッチ表)

床版厚cm	コンクリート重量W₁ kg/m²	W₁+W₂+W₃ kg/m²	(片寸法) ビームスパン(cm) ※ビーム長 110～250	260	270	280	290	300	310	320	330	340	350	360	370	380	390	400	410	420	430	440	450	460
			(P寸法) ビームピッチ(cm) ※仮設ピッチ																					
12	288	488																						
13	312	512																						
14	336	536					45																	43
15	360	560																					43	41
16	384	584																				43	41	39
17	408	608					44														43	41	40	38
18	432	632																			42	40	38	36
19	456	656					43													42	40	38	37	35
20	480	680															41	45	43	41	39	37	35	34
21	504	704					42										40	43	41	39	37	36	34	33
22	528	728														40	38	42	40	38	36	35	33	32
23	552	752					41									39	37	41	39	37	35	34	32	31
24	576	776													40	38	36	39	37	36	34	32	31	30
25	600	800													39	37	35	38	36	35	33	32	30	29
26	624	824													38	36	34	37	35	34	32	31	29	28
27	648	848					40							39	37	35	33	36	34	33	31	30	28	27
28	672	872												38	36	34	32	36	33	32	30	29	28	26
29	696	896											39	37	35	33	31	34	32	31	29	28	27	26
30	720	920					39						38	36	34	32	30	33	32	30	29	27	26	25
ビーム機種			11-14/14-18/18-25				25-32					32-39						39-46						

※ベニヤ使用のピッチ表については、床版材に12mm×900mm×1800mmの合板ベニヤを使用するものとして、ベニヤの強度、サイズ及び施工を考慮して作成したものです。

■許容曲げモーメント

このピッチ表は、コンクリート重量＋活荷重(「軽量支保梁の構造等の安全基準と解説」)を加算した最大荷重に対し割り出したもので、ピッチはa、b式より計算し小さい方の値を使用しました。

●ビームAX許容曲げモーメントM

$$P = \frac{8 \times M}{W\ell^2} \cdots\cdots a式$$

●ビームAX許容端部反力720kg(片側)

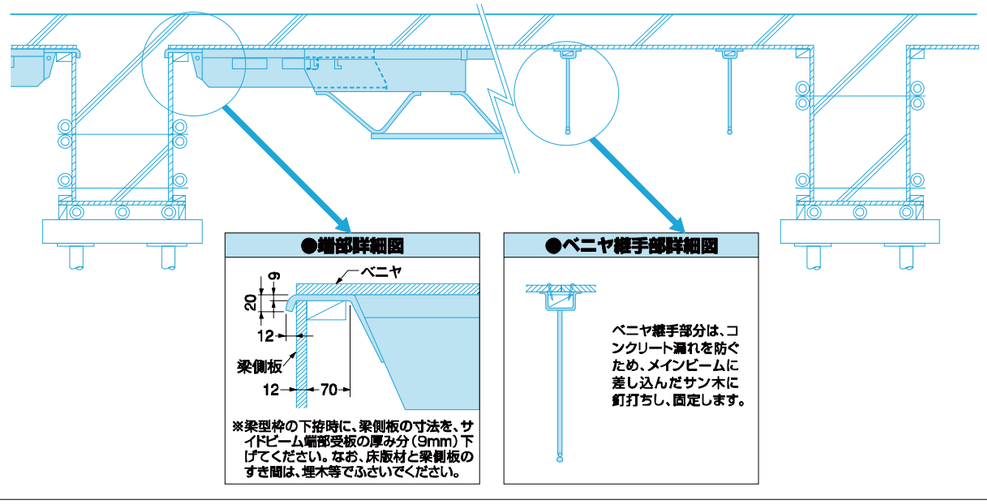
$$P = \frac{2 \times 270}{W\ell} \cdots\cdots b式$$

$W = W_1 + W_2 + W_3$

W_1＝総荷重kg/m²
W_1＝コンクリート重量kg/m²
W_2＝活荷重150kg/m²
W_3＝仮設荷重50kg/m²

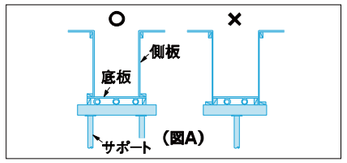
機　種	許容曲げモーメント(kg・m)
AX11-14	M=200
AX14-18	M=200
AX18-25	M=430
AX25-32	M=530
AX32-39	M=610
AX39-46	M=650

■施工例

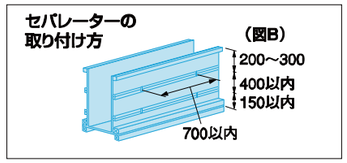


使用上の注意

※梁型枠下の支保工用サポートは、必ずダブルにして立ててください。この場合必ずしも受金具の下に立てる必要はありません。(図A)



※セパレーターは、梁型枠側板の座屈を防ぐため、図Bのように垂直方向400m/m、水平方向700m/m以内の間隔に取付けてください。



※コンクリートは局部的に推積させないように打設してください。

※ビームには集中荷重がかからぬ様、ご注意ください。

※ビームをかける梁型枠はそれぞれの側板でスラブ重量を支えます。いたんだコンパネや古いコンパネの使用は避けてください。